

令和 6年度予算見積調書

課室名：建設管理課
 担当名：土木積算担当
 内線：5196

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P102	建設工事関係積算システム改善費			一般会計	土木費	土木管理費	土木総務費	建設工事積算システム等維持管理費		
事業期間	平成18年度～	根拠法令	公共工事の品質確保に促進に関する法律第3条の11 公共工事の品質確保に促進に関する法律第7条の1			針路 分野施策	08 0805	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsゴール 12, 17 SDGsターゲット 12-7, 17-4	
1 事業の概要	<p>国の基準改定等に速やかに対応し、適正な積算業務を行えるシステムとする。またOSやミドルウェアの更新、セキュリティ対応に速やかに対応し、安定的な運用を行う。</p> <p>土木積算システム改善費 14,393千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業説明 土木積算システム改善費 14,393千円</p> <p>(2) 事業計画 令和6年度 ・計画的な発注事務の遂行には手作業を排除し、積算業務の効率化やミス削減が必要である。 ・設計書のチェックは、ペーパーレスチェックへの移行に伴い、複数の積算根拠等の資料をモニターと紙の併用により確認している。 ・このため、任意の項目に付箋を設定でき、確認必要箇所が見える化される機能の追加により、設計書チェック作業の効率化を図るものである。 ・また、本システムは稼働から長期間が経過し、最新トレンドに対応できていない。維持管理の費用のコスト削減を図るため、システムの現状を把握し、最新の技術に対応させることを目的に最適化調査が急務である。この事前準備として調査・検証計画策定のための資料収集業務を行う。</p> <p>(3) 事業効果 ・積算入札業務から手作業を排除することで、業務の効率化・ミス削減を図ることができ、積算精度の高い予定価格の実現、積算業務に携わる職員の負担軽減が図られる。 ・施工時期の平準化を踏まえた発注計画に沿った発注となり、受注する建設企業の人材や資機材の効率的な運用が可能となる。 【活動指標(アウトプット)】システム改修(付箋機能の追加)実施 【成果指標(アウトカム)】設計書作成に係る削減時間38,400時間/年</p>						
2 事業主体及び負担区分(県10/10)										
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1.5人=14,250千円 組織の新設、改廃及び増員 なし									
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
決定額	14,393								14,393	0
前年額	14,393								14,393	

事業内訳書

事業名	建設工事関係積算システム改善費		
単位事業名	建設工事関係積算システム改善費	予算額	14,393千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	14,393	0	
合計	14,393	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	14,393	0	積算基準改定対応等システム改修費 12,935,000円 システム最適化のための調査費 1,458,000円
合計	14,393	0	